

# 玉川教会たより

NO.474  
10月18日

▼最近読んだ本の一節です。

ラグビーの日本代表、いわゆる平尾ジャパンは、環太平洋選手権大会で優勝しそうな勢いである。格上の相手をすでに連覇している。その理由は、勿論チーム力の向上にもあるが、外国の有力選手への加入が大きい。日本に滞在三年以上の実績があれば、メンバーに加わることが出来るようになった。チーム力は格段に向上したのである。

▼ラグビーと聞いて、興味を覚えた人、何だ、教会に来てまでラグビーの話かうんざりだと、ひいた人があろうかと思いません。私などは後者です。この頃、テレビをつければラグビーで、いい加減にしてよとしらけてしまいます。



「にわかラグビー」  
まじります。

## 走り抜こう

ファンが増えて、一大ブームの様相です。これまではマイナーな印象で、私などは詳しいルールが分かりません。しかし、スポーツ全般が好きですから、最低限のことは知っています。先日入ったラーメン屋さんで、向かい

の席のサラリーマン風の三人が、にわかラグビー評論をしています。ところが、どうも彼らは満足にゲームについても、大会ルールについても知らないようなのです。これを延々と聞かされたのには、まいってしまいました。

▼それなのに何故、ラグビーの話をしてるのでしょ。

最近出会った素晴らしい本、エッセイ集に、先に取り上げた一文が載っていた



からです。「平尾ジャパン」というのは、随分古い感じがします。「松尾」と「平尾」とどっちが先だったか知ら、「大八木」はとが、私はその程度の知識です。

しかし、このエッセイに記されたことは、まるで、今、ラグビーブームの最中に記されたかのようなのです。本そのものについては、後日、マナの文庫に置きますのでご覧下さい。井上良彦著「カナンの風」です。

▼私たちにとっては、にわかラグビーブームです。しかし、実際にプレイをしている人びとにとっては、にわかなんてとんでもない。世間の評価がどうあれ、ずっと、地道に続けられて来たことなのです。ちょっと評判になったこともあり、新日鉄釜石が強かった時代とが、早慶戦や早明戦がニュースになったこともありました。しかし、忘れられたかのような時もありました。そんな中で、一途に打ち込んで来た人びとがいたということ、歴史は続いていたということ、これだけが確かなことです。…2頁へ。

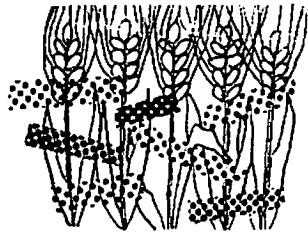
- 39: ところで、この人たちはすべて、その信仰のゆえに神に認められながらも、約束されたものを手に入れませんでした。
- 40: 神は、わたしたちのために、更にまさったものを計画してくださったので、わたしたちを除いては、彼らは完全な状態に達しなかったのです。
- 1: こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、
- 2: 信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。  
このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をもいとわないうで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。      ヘブライ書 11～12 章

▼今年の正月は、教団内でも駅伝が大きな話題でした。箱根で青山学院が優勝するという画期的なことが起こりました。駅伝こそそうですが、他人の評価がどうであれ、ひたすらに走り続けてきた人がいました。

「この中で、この人たちはすべて、その信仰のゆえに神に認められながらも、約束されたものを手に入れませんでした」

紙数の関係でここに記すことは困難ですが、ヘブライ書11章に、長いイスラエルの歴史の中で、ひたすらに神さまの道走り続けて来た人びとのことに触れられています。その一人ひとり、イスラエルの英雄です。

しかし、彼らは「約束されたものを手に入れませんでした」と、著者は言い切ります。



▼ゴールに辿り着いたのは、栄冠を手に入れたのは、私たちだと、これも

「神は、わたしたちのために、更にまさったものを計画してくださったので、わたしたちを除いては、彼らは完全な状態に達しなかったのです」。

イエスさまの十字架の出来事だけが、これを可能にしたと、著者は言い切りま

▼「このようにわけで、わたしたちもまたこのようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなへり捨てて、

自分に定められている競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか」

「証人」であって、応援団ではありませんが、しかし、先に「この道を行った者」

走り続ける、走り抜く、これしか、ゴールに辿り着く方法はありません。

▼「信仰の創始者また完成者であるイエス」。興味深い表現です。ヨハネ黙示録中に、三度も、「わたしはアルファであり、オメガである」と記されています。「信仰の創始者また完成者」も、意味は全く同じです。

「アルファであり、オメガである」その方は、「御自身の前にある喜びを捨て、まるでランナーのようです。横目を振らずに、前を見詰め、走り続けるのが、競争者です。

「恥をもちとわなないで十字架の死を耐え忍び」、他人の評価に左右されたりしません。

「神の玉座の右にお座りになったので、神の国へとゴールされ、そこから、私たちを招いて下さるのです。」

### 宗教改革記念日

10月31日(土)は、宗教改革記念日に当たります。1517年、マルティン・ルターがヴィッテンベルク城教会の扉に「95ヶ条の論題」を張り出したことが、直接的に宗教改革へと繋がったとされます。私たちの教会の一つの源流とも言えます。

玉川教会では、特別な集会は持ちませんが、このことを覚えて、お祈り下さい。

### 11～12月の諸集会

宗教改革記念日

10月31日(土)

2017年には、宗教改革500年を迎えます。

聖徒の日・永眠者記念礼拝

11月1日(日)

礼拝後、昼前礼拝

教会バザー

11月8日(日) 礼拝後

献品、受け付けています。

収穫感謝日

11月22日(日)

待降節

11月29日(日) より。

クリスマス諸集会 12月

20日(日) 降誕節礼拝・クリスマス愛餐会

23日(水・祝日) CSクリスマス

24日(木) 燭火礼拝となります。

今から、ご予約下さい。